

令和6年度の重点課題

○新体力テストの結果より

・男女ともに「握力」の記録が県平均値（令和5年度と令和6年度）・全国平均値（令和4年度と令和5年度）を下回っている。
 ・女子の「50m走」、「立ち幅跳び」の記録が県平均値（令和5年度）・全国平均値（令和4年度）を下回っている。

○児童アンケートより

・「スポーツや体を動かす遊びが好きですか。」の問いに否定的な回答をした児童が25%程度いる。（主な理由は、「走るのが苦手だから。」「走るのが遅いから。」と苦手意識を持っている。）

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

・「正しい体の使い方やポイントを知るため」、
 「自分の体の動きを客観的に把握し、改善するため」に引き続きICT機器を積極的に活用した。
 ・動画資料等を活用して正しい走り方のフォームを指導し、低学年から意識して走ることができるように重点的に取り組んだ。
 ・運動が苦手な児童も積極的に取り組めるように、個人の成長を感じられるワークシートを作成した。また、技能向上のための単調な練習ではなく、ゲーム性を取り入れた運動を通して体を動かすことを楽しみながら技能を身に付けられるようにした。
 ・朝のドキドキタイム（体育朝会）の中で、いろいろな種類の「鬼遊び」や「走の運動」を取り入れ運動量を確保するとともに、普段あまり運動しない児童も、楽しく運動ができるようにした。
 ・長期休業中も家庭でできる運動を紹介した「体力アップカード」を活用させ、自分の体力向上に合った運動を自己決定させ、積極的に取り組めるようにした。
 ・体育の授業前や、朝のドキドキタイム（体育朝会）の中で、両手を伸ばしてグーバー運動を取り入れて、手首から肘の筋肉を鍛えた。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値（令和6年度）・全国平均値（令和5年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.00	23.00	42.00	46.00	83.00	8.50	150.00	33.00	70.00	第5学年	14.56	20.11	35.67	43.78	45.78	9.68	147.33	19.22	58.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値（令和7年度）・全国平均値（令和6年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.00	23.00	42.00	46.00	83.00	8.50	150.00	33.00	70.00	第5学年	14.56	20.11	35.67	43.78	45.78	9.68	147.33	19.22	58.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	100.00	0.00	0.00	0.00	第5学年	37.50	62.50	0.00	0.00

重点課題

情意面での課題

○児童アンケートより
 ・「運動（体を動かす遊び）やスポーツは好きですか。」の問いには、全員が肯定的な回答だった。

体力面での課題

○令和7年度新体力テストの結果より
 ・男子は、「立ち幅跳び」の記録が県平均値（令和6年度と令和7年度）・全国平均値（令和5年度と令和6年度）を下回っている。
 ・女子は、「握力」の記録が県平均値（令和6年度と令和7年度）・全国平均値（令和5年度と令和6年度）を下回っている。また、「長座体前屈」の記録も県平均（令和6年度と令和7年度）・全国平均値（令和5年度と令和6年度）を下回っている。

令和8年度の
重点目標値

○男子は、「立ち幅跳び」が、全国平均値と同程度になるようにする。
 ○女子は、「握力」「長座体前屈」が、全国平均値と同程度になるようにする。
 ○運動やスポーツ・体を動かすことに対して肯定的な回答をする児童の割合を、男女とも100%にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○低学年からの「握力」「立ち幅跳び」「長座体前屈」の基礎体力の育成を重視し、体を動かすことを楽しみながら技能の定着を図ることができるようにする。
 ○「運動の楽しさと成長過程を重視」「体の使い方を意識した指導」「成長の記録を見える化する」ことにより、意欲を高めていく。
 ・握力を強化させるために綱引きやボール運びリレー等で握る・引く動作を増やす。
 ・マーカーで距離を測り自己記録に挑戦するチャレンジを導入し、立ち幅跳びの強化を図る。
 ・ストレッチやベア前屈で柔軟性を高める。

体育の授業以外で行う取組内容

体力テストで課題が見られた項目を中心に、基礎的な運動能力の向上と運動習慣の定着を図るために、以下のような内容に取り組む。
 ①朝のドキドキタイムでジャンプ・腕立て・ストレッチ等のローテーション運動を行い、全児童が楽しく運動量を確保できるようにする。
 ②握力向上のために、鉄棒・雲梯を使ったぶら下がり運動を継続実施する。
 ③長座体前屈向上のために、タオルストレッチやベアストレッチを習慣化する。
 ④ベア練習・グループ応援タイムを設け、仲間と励まし合いながら取り組む意欲を高める。